



消防だより

11月の広報テーマ

119

高齢者宅における暖房器具からの出火防止

朝晩の寒さが身にしみる季節を向かえ、ご家庭では暖房器具がフルに活動されているとおもいますが、「高齢者住宅からの出火防止」として、次の点に十分注意して下さい。

暖房器具の周りには燃えやすい物を近づけないでください。一人暮らしの高齢者、又は身内の方と一緒に暮らしているものの、自室で移動ストーブを使用している方は、誤ってつまづきストーブを転倒させることのないように、室内の整理整頓を常に心掛けてください。

移動ストーブの場合、「燃料の給油時」は必ずストーブを一旦消火してから行ってください。



寒さが厳しくなりますと、知らず知らず厚着をしてしまう傾向が見られます。厚着をしていまずと、熱が中々肌伝わりに難く、特に炊事などの作業時にはストーブに接近し過ぎて厚着によって鈍感になり、着衣着火の発見が遅れてしまうことがありますので、十分注意をして下さい。物を大切にすることは良いのですが、包装紙や空き箱など、いらなくなった物を中々捨てられず、家の中にしまひ込んでいる家庭があります。火災が発生した時、あつとゆう間に火を拡大させてしまうことになりまますので、整理整頓をお願いします。

合同親睦防火パークゴルフ大会を開催

洞爺湖消防署(瓶子 滋署長)の民間防火組織である洞爺湖消防協会(市川友義会長、入江4区婦人防火クラブ(高木明美会長)、温泉1区婦人防火クラブ(越後節子会長)、温泉3区婦人防火クラブ(坂井千枝会長)の

4団体による初めての合同の親睦防火パークゴルフ大会が、9月28日(日)洞爺湖町夕日が丘パークゴルフ場で開催されました。大会には総勢45名の参加があり、好プレーと珍プレーの連続で、終始なごやかな雰囲気の中でゲームが行われました。

大会終了後は食事が開催され、多くの婦人防火クラブ員から「来年も合同で開催してほしい」という声が出され、楽しく団体の交流が深められた一日となりました。

なお、成績は次の通りです。優勝 東出可津子/準優勝 酒井祥子/3位 高木明美(全て入江婦人防火クラブの皆さん)



合同親睦防火パークゴルフ大会

洞爺湖消防団の秋季演習が行われる
青空が広がった秋晴れのもと、

洞爺湖消防団(寺島勉団長)は、10月21日(火)、「秋の火災予防運動」の一環として、「ふるりの丘総合福祉館」で秋季消防演習を行いました。

出動車両12台、消防団員及び職員(洞爺湖・伊達消防署、豊浦・壮瞥支署)の総勢102名が参加。

「3階の居室から出火し、入居者及び施設職員が逃げ遅れた」との想定で行われ、消防団の迅速な消火活動と、救助隊の梯子車を使って人命救助、救急隊員による応急処置から救急車での病院搬送の至るまで、本番ながら演習が繰り広げられました。

入江・本町保育所で避難訓練を行う

10月14日(火)に入江保育所(小林茂美所長)と10月16日(木)に本町保育所(岡部恵子所長)において避難訓練を行いました。

園児達は、突然の大きなベルの音に驚きながらも口に手を当て、落ち着いて先生に寄り添い、安全な場所へと無事避難を行いました。



本番さながらの秋季演習



重そうにホースを持つちびっ子消防隊

統一標語
「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」

fire

9月の
火災件数 1件
救急件数 43件